

社会科学学習指導案

指導者 宮田博文

- 1 日時 令和元年10月8日(火) 6校時
- 2 学級 3年4組 男子17名 女子15名 合計32名 東校舎階3年4組教室
- 3 主題 単元名 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治
中心学習材 「政治参加と選挙」(東京書籍「新しい社会 公民」)

4 主題について

第3章の「現代の民主政治と社会」は第1節から第3節で構成されている。第1節(単元)では日本の民主政治の基礎的な制度、第2節では日本の国の統治機構、第3節では地方自治制度について取り上げている。この三節を通して日本の政治のしくみや世論の形成、地方自治のあり方について理解を深めさせたい。また、一人一人が政治に対する関心を高め、主権者であるという自覚を深め、主体的に社会に参画する態度を育みたい。

生徒は社会科や社会的事象への興味・関心が高い生徒とあまり興味・関心が無い生徒の個人差がある。本単元に向けて事前に選挙についてアンケートをとって見たところ、18歳から投票権を得ることはほぼ100%が理解していた。しかし、実際に投票に行くか訪ねたところ国政選挙・地方選挙にはほぼ関係なく、「必ず行く」「たぶん行くと思う」が、40%前後という結果であった。本単元の「現代の民主政治」の学習を通して、政治に対する理解を深め、政治参加への意欲・関心を高めていきたい。

歴史的背景などから民主政治の意義について改めて考えさせたい。その上で、現代における日本の民主政治の実情について国の政治、地方の政治から理解を深めさせたい。資料収集に努め、できるだけ身近な問題から視野を広げていく授業を展開していきたい。主体的に現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、対話的活動を取り入れ、社会の諸問題の複雑さや解決策を考えさせ、民主政治に参画する態度を育てていきたい。

5 本時の達成目標

選挙制度の課題について調べることにより、選挙は国民が政治に参加する重要な機会であることを理解することができる。選挙制度の改善策を討論することにより、良識ある主権者として主体的に政治に参画する態度を表現することができる。

6 評価場面での生徒の記述例

【思考・判断・表現】

おおむね満足 B	十分満足 A
資料から投票率低下の傾向と理由について、理解することができる。 改善策については話し合い活動を通して、現状に付随した形でまとめることができる。	資料から投票率低下の傾向と理由について、歴史的背景や現代社会の影響があることを理解することができる。 改善策については話し合い活動を通して、現状を踏まえ近未来に活用できる形でまとめることができる。

7 振り返りの場面での生徒の記述例【意欲・関心・態度】

投票率低下は政治に対する関心が薄くなってきているからと考えられる。選挙に1票を投ずることは、より良い社会を築くための自分の意志を反映させる数少ない機会であることを一人一人が認識する必要がある。将来、自分の権利として1票を投じたいと思っている。

8 本時の展開 (記述例)

段階	学習活動	指導上の留意点 評価の観点・方法 ◆教材・教具等
導入 5分	1 単元の目標を確認する 2 課題の前半部分について予想を立てる。 (個人) 3 学習課題を把握する。	1 主体的に政治への参画の確認 2 投票率の資料や新聞記事等予想したことを発表させ、確認する。
展開 40分	<p style="text-align: center;">なぜ、選挙の投票率が下がってきているか。また、その改善策について考えよう。</p> <p>第1ステップ</p> 4 教科書、資料から投票率低下について調べる (個人)。 ・年々投票率は下がる傾向 ・特に若い世代の投票率が下がっている。 5 投票率低下の要因について探究する (個人) ・選挙に行っても政治は良くなるらない。 <p>第2ステップ</p> 6 投票率低下に対する国の対策について調べる (個人)。 ・期日前投票制度 ・投票所を増やす。 7 選挙の課題と改善策について討議する (小グループ)。 討議したことを発表する (全体)。 <p>ラストステップ</p> 8 学習課題についてまとめる (個人)。 	4 資料から要点を的確に読み取らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【主体的】 資料から読み取ったことを基に社会的事象や数的なものから根拠をもたせ考えさせる。</p> </div> 6 国の対策について補充し、説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【対話】 投票率低下の要因と解決策について考えさせ深めさせる。</p> </div> ・投票率が下がるとどうなるか想像させる。 <p style="text-align: right;">◆ホワイトボード ◆学習シート</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>8 【思考・判断・表現】</p> <p>課題に対して資料から読み取ったことや他者の考えから文章にまとめている。</p> <p>A:課題に対する自分の答えを、根拠を明らかにしながら自分の言葉で文章にまとめている。</p> <p>C:キーワードを示して、まとめることができるように支援する。</p> </div>
	終末 5分	9 学習活動を振り返る。(個人)

9 指導と評価の計画

3 年 社会		単元名 1 節 現代の民主政治 (中心学習材名 2 政治参加と選挙)	総時間 5 時間扱い
学習指導要領の指導事項		単元の目標	
<p>本単元では、学習指導要領における(3)「私たちと政治」のイにあたる「民主政治と政治参加」の内容を取り扱う。</p> <p>国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めさせる。さらに、民主政治の推進と、公正な世論の掲載や国民の政治参加との関連について考えさせる。その際、選挙の意義について考えさせる。</p>		<p>身近で具体的な事例を通して政治に関心をもたせ、主権者として積極的に政治に関わっていこうとする意欲と態度を育てる。</p> <p>政党の役割や選挙制度、世論などの政治参加の方法について多面的・多角的に考えさせる</p> <p>新聞記事や統計資料などを活用し、日本の政治の動きを多面的・多角的にとらえさせる。</p> <p>多数決の原理や選挙の仕組み、政党や世論の役割について理解させる。</p>	
時	主な学習活動	おおむね満足 (B)	
1	単元の目標・流れについての確認。 政治とは何か。民主主義とは何か、なぜ議会制民主主義がされているのかを理解する。	<p>思 民主主義の考え方が大切であることを、歴史的な経緯を踏まえて考え、適切に表現している。</p> <p>知 議会制民主主義において、多数決の原理と少数意見の尊重が重要であることを理解している。</p>	
2	選挙は政治参加の重要な機会であることを理解し、具体的な作業を通して理解する。	<p>知 選挙の意義と日本の選挙制度のあらましについて理解する。</p>	
3 (本時)	選挙に関する課題について、主権者の立場から具体的な事例を通して考え、話し合う。	<p>思 選挙に対する課題について、有権者や立候補者、選挙制度などの様々な視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>関 将来、主権者として政治参加する意欲を表現している。</p>	
4	政党が国民と議会を結びつける役割を果たしており、民主政治において重要な存在であることを理解する。	<p>関 現在の日本の政党政治の動向や課題について意欲的に調べ、関心を高めている。</p>	
5	世論形成におけるマスメディアの役割を理解し、公正な世論形成のためにマスメディアや国民一人一人はどう在るべきかを考える。	<p>思 新聞記事の構成や内容を比較し、気付いたことや考えたことを適切にまとめることができる。</p> <p>資 課題に沿って新聞記事を収集・選択し、その内容を的確に読み取っている。</p>	